

出産について

1. 子供の人数

(1) 欲しい子供の人数(問7)

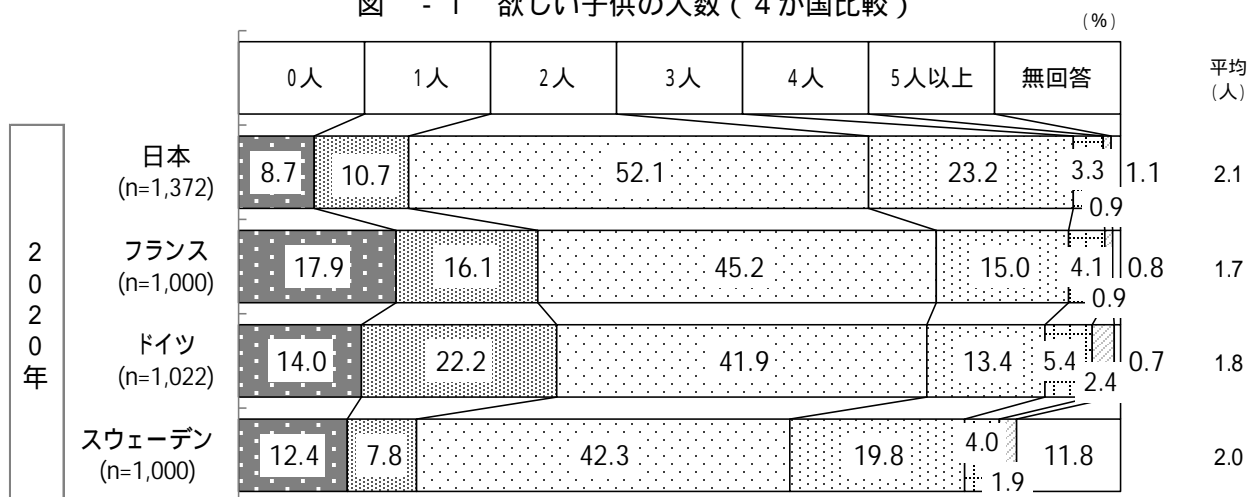
【全員に】

問7 あなたは、全部で何人の子供が欲しいですか。既にお子さんがいる場合には、そのお子さんも含めてお答えください。

全部で何人の子供が欲しいか聞いたところ、日本では、「2人」(52.1%)が最も高く、「3人」(23.2%)が続く。平均では2.1人となっている。

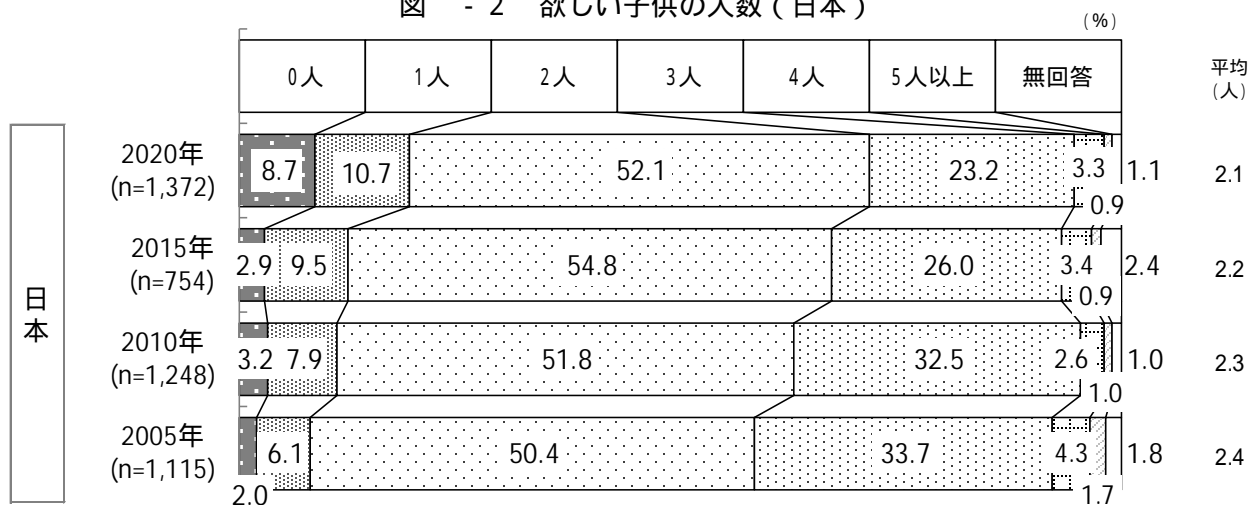
各国の結果を比較すると、平均では日本の2.1人に続いてスウェーデンが2.0人、ドイツが1.8人、フランスが1.7人となっている。(図 - 1)

図 - 1 欲しい子供の人数(4か国比較)



日本について過去の結果と比較すると、欲しい子供の人数の平均は回を追うごとに減少している(2005年:2.4人 2010年:2.3人 2015年:2.2人 2020年2.1人)。(図 - 2)

図 - 2 欲しい子供の人数(日本)



注:「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

(2) さらに子供を増やしたいか(問8)

【問7で答えた欲しい子供の数よりも、問7aで答えた実際の子供の数が少ない方に】

問8 あなたは、今よりも、子供を増やしたいと思いますか。この中から1つだけ選んでください。
(○は1つだけ)

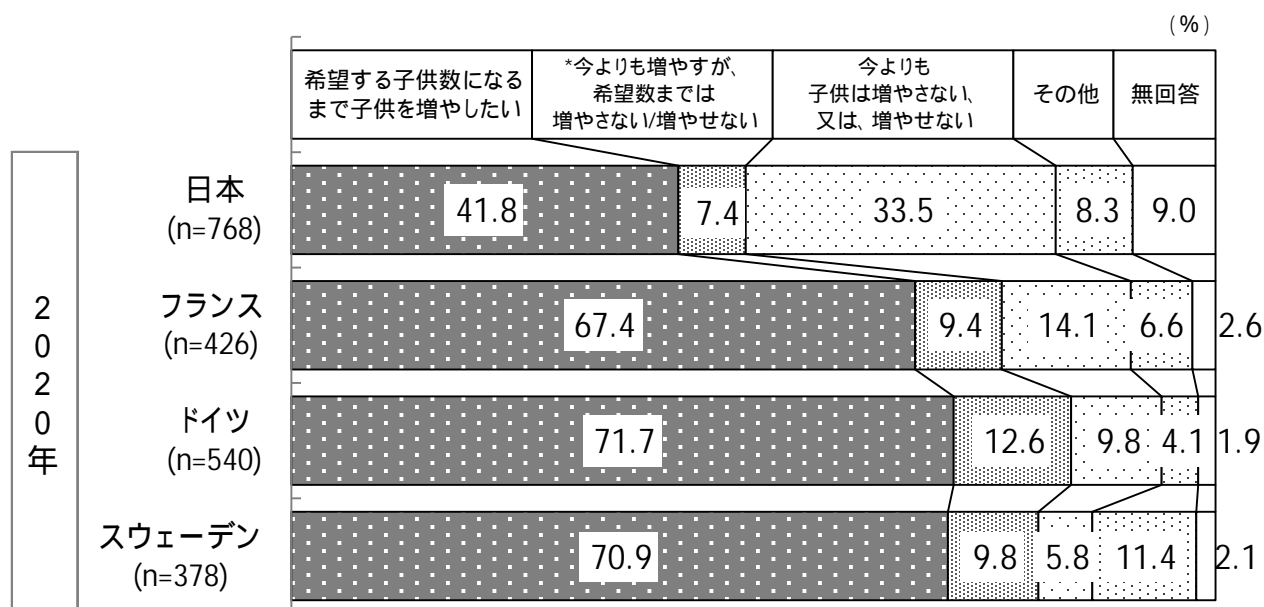
- 1 希望する子供数になるまで子供を増やしたい
- 2 今よりも子供は増やすが、希望する子供数になるまでは増やさない、又は、増やせない
- 3 今よりも子供は増やさない、又は、増やせない
- 4 その他()

欲しい子供の人数が実際の子供の人数より多い人に、今よりも子供を増やしたいと思うか聞いたところ、日本では、「希望する子供数になるまで子供を増やしたい」(41.8%)が最も高く、「今よりも子供は増やさない、又は、増やせない」(33.5%)が続いている。

各国の結果を比較すると、フランス・ドイツ・スウェーデンでは、「希望する子供数になるまで子供を増やしたい」が7割前後(フランス:67.4%、ドイツ:71.7%、スウェーデン:70.9%)となっている。

(図 - 3)

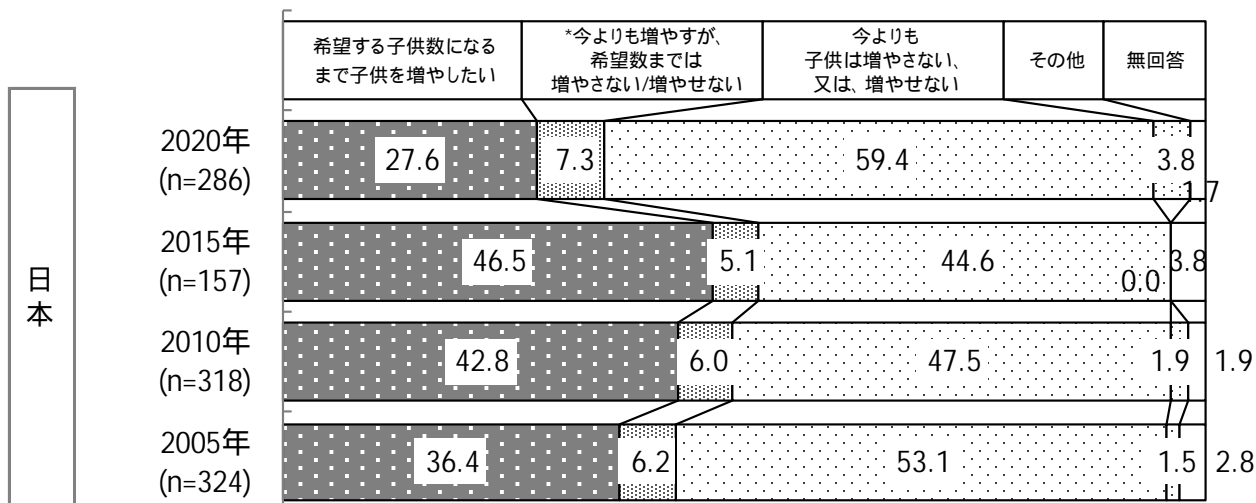
図 - 3 更に子供を増やしたいか(4か国比較)



*「今よりも子供は増やすが、希望する子供数になるまでは増やさない、又は、増やせない」

過去の調査では、現在子供のいる人にこの質問を聞いていたため、日本について子供のいる人に絞って過去の結果と比較すると、「希望する子供数になるまで子供を増やしたい」は2005年度から2015年度調査にかけて増加傾向にあった（2005年：36.4% 2010年：42.8% 2015年：46.5%）が、2020年度調査は27.6%と2015年度調査より18.9ポイント減少した。（図 - 4）

図 - 4 更に子供を増やしたいか（日本・子供のいる人） (%)



*「今よりも子供は増やすが、希望する子供数になるまでは増やさない、又は、増やせない」
注：「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

(3) 子供を増やしたくない理由(問9)

【問8で「2 今よりも子供は増やすが、希望する子供数になるまでは増やさない、又は、増やせない」
又は「3 今よりも子供は増やさない、又は、増やせない」と答えた方に】

問9 希望する数まで、又は今よりも子供を増やさない、又は、増やせない理由は何ですか。
この中から当てはまるものを、いくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 10 これ以上、自分又は配偶者・パートナーが
育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |
| 2 保育サービスが整っていないから | 11 妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が
嫌だから |
| 3 雇用が安定しないから | 12 健康上の理由から |
| 4 働きながら子育てができる職場環境が
ないから | 13 欲しいけれども妊娠しないから |
| 5 自分の昇進・昇格に差し支えるから | 14 配偶者・パートナーの家事・育児への協力が
得られないから |
| 6 家が狭いから | 15 配偶者・パートナーが望まないから |
| 7 子供がのびのび育つ社会環境でないから | 16 その他() |
| 8 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 17 特にない |
| 9 自分又は配偶者・パートナーが高年齢で、
産むのが嫌だから | |

希望する子供数まで、又は今よりも子供を増やさない、又は増やせないと回答した人に理由を聞いたところ、日本では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が51.6%と最も高くなっている。

各国の結果を比較すると、フランスでは、日本と同様「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(27.0%)、ドイツでは「雇用が安定しないから」(24.0%)、スウェーデンでは「配偶者・パートナーが望まないから」(27.1%)が最も高くなっている。(図 - 5)

図 - 5 子供を増やしたくない理由（4か国比較）

(%)

	2020年			
	日本 (n=314)	フランス (n=100)	ドイツ (n=121)	スウェーデン (n=59)
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	51.6	27.0	21.5	11.9
保育サービスが整っていないから	13.1	3.0	10.7	-
雇用が安定しないから	14.0	12.0	24.0	-
働きながら子育てができる職場環境がないから	17.5	10.0	11.6	-
自分の昇進・昇格に差し支えるから	1.6	5.0	6.6	1.7
家が狭いから	6.4	7.0	18.2	8.5
子供がのびのび育つ社会環境でないから	11.1	6.0	12.4	5.1
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	5.4	9.0	7.4	3.4
自分又は配偶者・パートナーが高年齢で、産むのが嫌だから	23.2	22.0	13.2	22.0
これ以上、自分又は配偶者・パートナーが育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	19.4	5.0	8.3	10.2
妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから	7.6	3.0	6.6	5.1
健康上の理由から	12.4	8.0	20.7	15.3
欲しいけれども妊娠しないから	13.4	15.0	4.1	16.9
配偶者・パートナーの家事・育児への協力が得られないから	7.0	3.0	5.8	3.4
配偶者・パートナーが望まないから	9.2	10.0	19.0	27.1
その他	10.2	8.0	13.2	30.5
特にない	6.4	15.0	5.8	1.7
無回答	0.6	1.0	-	3.4

過去の調査では、現在子供のいる人にこの質問を聞いていたため、日本について子供のいる人に絞って過去の結果と比較すると、2015年度調査よりも「これ以上、自分又は配偶者・パートナーが育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(2015年：14.1% 2020年：26.2%)と「配偶者・パートナーが望まないから」(2.6% 13.1%)が10ポイント以上増加している。(図 - 6)

図 - 6 子供を増やしたくない理由(日本・子供のいる人)

	日本 (%)		
	2020年 (n=191)	2015年 (n=78)	2010年 (n=170)
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	55.5	50.0	41.2
保育サービスが整っていないから	15.2	15.4	7.1
雇用が安定しないから	11.5	9.0	13.5
働きながら子育てができる職場環境がないから	20.4	21.8	22.4
自分の昇進・昇格に差し支えるから	2.1	2.6	2.4
家が狭いから	8.9	7.7	11.8
子供がのびのび育つ社会環境でないから	9.9	10.3	9.4
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	2.1	3.8	5.9
自分又は配偶者・パートナーが高年齢で、産むのが嫌だから	31.9	32.1	32.4
これ以上、自分又は配偶者・パートナーが育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	26.2	14.1	12.4
妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから	8.9	3.8	4.1
健康上の理由から	12.6	16.7	15.9
欲しいけれども妊娠しないから	13.1	14.1	9.4
配偶者・パートナーの家事・育児への協力が得られないから	9.4	5.1	7.1
配偶者・パートナーが望まないから	13.1	2.6	8.2
その他	8.9	2.6	1.8
特にない	3.7	3.8	3.5
無回答	0.5	-	-

注：「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

2. 子供をもつことへの考え方

(1) 子供をもつことに対する考え方(問10)

【全員に】

問10 あなたは、自分の子供を持つことに対して、どのように考えていますか。既にお子さんがいらっしゃる方は、子供を持つ前にどのように考えていたかということについてお答えください。次の中から重要なものを、3つまで選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1 子供を持つことは自然なことである | 9 配偶者・パートナーや親など周囲が望むから、子供を持つ |
| 2 自分の子孫を残すことができる | 10 自分の家の家名を残すことができる |
| 3 子供を持つことで周囲から認められる | 11 自分の自由な時間が制約される |
| 4 子供がいると生活が楽しく豊かになる | 12 経済的な負担が増える |
| 5 子供は老後の支えになる | 13 身体的・精神的な負担が重くなる |
| 6 子供は将来の社会の担い手となる | 14 その他() |
| 7 子供は夫婦関係を安定させる | 15 特になし |
| 8 好きな人の子供を持ちたいから、子供を持つ | |

自分の子供を持つことに対して、どのように考えているかを3つまで聞いたところ、日本では、「子供がいると生活が楽しく豊かになる」(59.2%)が最も高く、以下、「子供を持つことは自然なことである」(43.8%)、「好きな人の子供を持ちたいから、子供を持つ」(30.8%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランス・ドイツでは、「子供を持つことは自然なことである」(フランス：58.7%、ドイツ：46.3%)が最も高くなっている。スウェーデンでは、日本と同様「子供がいると生活が楽しく豊かになる」が69.4%と最も高くなっている。

日本について過去の結果と比較すると、2015年度調査よりも「経済的な負担が増える」(2015年：13.4% 2020年：24.6%)が11.2ポイント増加し、「子供は夫婦関係を安定させる」(21.4% 10.3%)が11.1ポイント減少している。(図 - 7)

図 - 7 子供を持つことに対する考え方

	2020年 (%)				日本 (%)			
	日本 (n=1,372)	フランス (n=1,000)	ドイツ (n=1,022)	スウェーデン (n=1,000)	2020年 (n=1,372)	2015年 (n=754)	2010年 (n=1,248)	2005年 (n=1,115)
子供を持つことは自然なことである	43.8	58.7	46.3	39.9	43.8	52.3	57.9	68.5
自分の子孫を残すことができる	15.6	17.8	22.7	10.6	15.6	16.2	20.0	21.2
子供を持つことで周囲から認められる	3.4	2.8	4.0	1.7	3.4	4.9	3.5	4.1
子供がいると生活が楽しく豊かになる	59.2	51.9	40.1	69.4	59.2	63.4	62.7	59.7
子供は老後の支えになる	8.7	9.6	11.1	11.1	8.7	13.8	12.7	10.5
子供は将来の社会の担い手となる	12.1	8.8	20.7	20.4	12.1	17.8	24.4	18.3
子供は夫婦関係を安定させる	10.3	4.5	12.1	1.8	10.3	21.4	21.0	21.5
好きな人の子供を持ちたいから、子供を持つ	30.8	37.3	33.0	45.3	30.8	27.7	18.5	21.9
配偶者・パートナーや親など周囲が望むから、子供を持つ	5.0	4.3	1.8	2.4	5.0	2.8	2.4	2.3
自分の家の家名を残すことができる	3.8	5.3	6.6	2.0	3.8	5.3	4.8	4.3
自分の自由な時間が制約される	13.3	9.9	16.4	17.9	13.3	6.2	6.8	8.9
経済的な負担が増える	24.6	11.9	17.8	13.6	24.6	13.4	13.1	11.4
身体的・精神的な負担が重くなる	9.8	12.6	14.2	15.8	9.8	4.2	3.6	4.4
その他	1.8	0.8	1.0	3.1	1.8	0.1	-	0.2
特にない	4.4	3.3	3.8	1.6	4.4	0.8	1.3	1.1
無回答	0.1	-	0.1	1.1	0.1	0.8	0.5	1.0

注:「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

(2) 不妊治療の環境 (問11) * 新規の質問

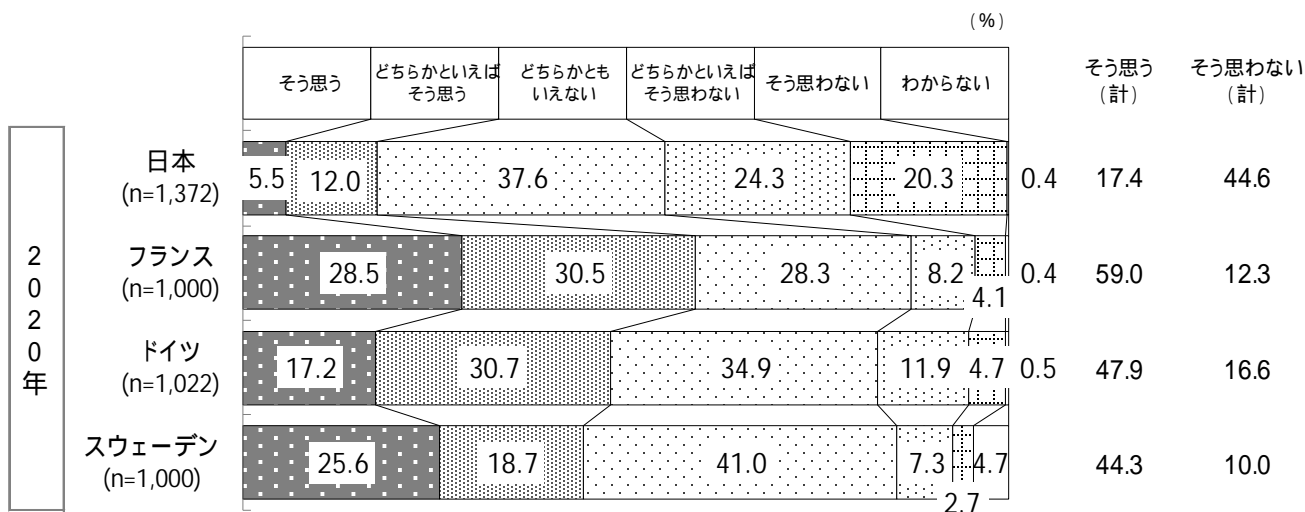
問11 日本(フランス・ドイツ・スウェーデン)は、子供を持つことを希望しながら、希望する時期に妊娠できない時、不妊治療を受けやすい環境だと思いますか。この中からあなたの考えに近いものを、1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそう思わない
- 5 そう思わない

不妊治療を受けやすい環境かどうか聞いたところ、日本では、「そう思わない」(20.3%)と「どちらかといえばそう思わない」(24.3%)を合計した『そう思わない(計)』が44.6%となっている。

各国の結果を比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した『そう思う(計)』の割合が、フランスでは59.0%、ドイツでは47.9%、スウェーデンでは44.3%となっており、日本(17.4%)と対照的な結果である。(図 - 8)

図 - 8 不妊治療の環境



(3) 不妊治療を受けにくい理由 (問11SQ) * 新規の質問

【問11で「4どちらかといえばそう思わない」又は「5そう思わない」と答えた方に】

問11SQ 不妊治療を受けやすい環境だと思わないのはなぜですか。いくつでもお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 治療費の負担が大きいから | 6 不妊治療を実施している医療機関が周囲にないから |
| 2 仕事に影響するから | 7 不妊治療に関する情報が少ないから |
| 3 心理的に抵抗があるから | 8 不妊治療の効果が小さいから |
| 4 周囲の人から反対されるから | 9 その他() |
| 5 身体的な負担が大きいから | |

不妊治療を受けにくい理由について聞いたところ、日本では、「治療費の負担が大きいから」(91.8%)が最も高く9割を超えており、「仕事に影響するから」(49.0%)、「不妊治療に関する情報が少ないから」(42.8%)が続く。

各国の結果を比較すると、欧州3か国では、日本と同様、「治療費の負担が大きいから」(フランス：65.9%、ドイツ：76.5%、スウェーデン：56.0%)が最も高い。「仕事に影響するから」(フランス：6.5%、ドイツ：16.5%、スウェーデン：2.0%)は日本と比較して低い。(図 - 9)

図 - 9 不妊治療を受けにくい理由

	2020年 (%)			
	日本 (n=612)	フランス (n=123)	ドイツ (n=170)	スウェーデン (n=100)
治療費の負担が大きいから	91.8	65.9	76.5	56.0
仕事に影響するから	49.0	6.5	16.5	2.0
心理的に抵抗があるから	22.7	27.6	36.5	18.0
周囲の人から反対されるから	3.8	7.3	16.5	8.0
身体的な負担が大きいから	47.1	30.1	35.3	5.0
不妊治療を実施している医療機関が周囲にないから	14.9	29.3	15.9	25.0
不妊治療に関する情報が少ないから	42.8	56.1	40.6	39.0
不妊治療の効果が小さいから	7.2	22.0	15.9	2.0
その他	4.1	1.6	1.2	18.0
無回答	-	-	-	-

(4) 子供の有無という観点からの人生設計(問12) *新規の質問

【全員に】

問12 「将来、自分が子供を持つのか持たないのか」といった観点からの人生設計(ライフプラン)について、あなたはどの程度考えたことがありますか。この中から1つだけ選んでください。
(○は1つだけ)

- 1 よく考えたことがある
- 2 少し考えたことがある
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり考えたことがない
- 5 まったく考えたことがない

「将来、自分が子供を持つのか持たないのか」といった観点からの人生設計(ライフプラン)について聞いたところ、日本では「よく考えたことがある」(21.4%)と「少し考えたことがある」(33.3%)を合計した『考えたことがある(計)』は54.7%となっている。

各国の結果と比較すると、『考えたことがある(計)』という回答は、スウェーデンが81.0%で最も高く、ドイツ(67.4%)、フランス(58.5%)、日本(54.7%)の順である。(図 - 10)

図 - 10 子供の有無という観点からの人生設計

